

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	873100762		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム もくれん		
所在地	小美玉市川戸1425-14 (電話) 0299-37-0123		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成20年6月24日	評価確定日	平成20年11月4日

## 【情報提供票より】(平成20年5月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年6月3日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	17 人	常勤	11人, 非常勤 6人, 常勤換算 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	平屋 建ての	～ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,500 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(平成20年5月20日現在)

利用者人数	27 名	男性	11 名	女性	16 名
要介護1	2 名	要介護2	9 名		
要介護3	12 名	要介護4	0		
要介護5	1 名	要支援2	3 名		
年齢	平均 84 歳	最低	61 歳	最高	103 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	美野里病院	宇野歯科医院
---------	-------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは「やさしく、しんせつ、ていねいに」を理念に掲げ、家庭的な雰囲気の中で理念に基づく利用者本位の支援をしている。  
職員は利用者がゆったりと自由な生活ができるよう配慮するとともに、利用者ができることを把握しパッチワークなど手作り作品を随所に飾り、利用者の気持ちや和む環境づくりをしている。  
設置母体が医療機関であることから、利用者や家族等の希望にそった適切な医療が受けられる支援体制になっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価でケアサービスが課題となっていたが改善には至っていないので、アセスメントに基づき具体的な介護計画を作成することを期待する。 介護計画の見直しは実施期間の達成状況や新たに課題が生じていないかなど、見直しを確実にすることが望まれる。 介護記録や会議記録についても、利用者一人ひとりの日々の暮らしや変化を明確に記録し、介護計画に反映することが望まれる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価や自己評価の意義について理解が不十分であり、全職員で自己評価に取り組むまでに至っていないので、管理者や全職員で自己評価を行うとともに、改善に向けた具体案の検討や実践につなげるための努力が望まれる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は市職員や民生委員等の地域代表者、利用者や家族などに委員を依頼し、2ヶ月に1回定期的に開催するとともに、会議でだされた課題をサービスの質の向上に活かすことを期待する。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情窓口や担当者を重要事項説明書に明示している。 玄関に意見箱や自由ノートを置き、家族等が意見を自由に記入できる仕組みになっている。 また、意見があった場合はミーティングで検討し、サービスに反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の方々がボランティアでホーム内の草取りをしている。 地域の小学生が授業の一環として来訪するなど、地域との交流に努めている。 ホームの行事に地域の方々を招待している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての理念を見直すまでには至っていない。	○	地域密着型サービスとしてのホームの役割を反映した理念を全職員で相談し、ホーム独自の理念をつくりあげることが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「やさしく、しんせつ、ていねいに」という従来の理念を実践している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方々がボランティアでホーム内の草取りをしている。 地域の小学生が授業の一環として来訪するなど、地域との交流に努めている。 ホームの行事に地域の方々を招待している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価や自己評価の意義について理解が不十分であり、全職員で自己評価に取り組むまでには至っていない。	○	管理者や全職員で自己評価を行うとともに、改善に向けた具体案の検討や実践につなげるための努力が望まれる。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は現在まで開催していないが、7～8月までに委員を選出し開催する予定である。	○	運営推進会議は、市職員や民生委員等の地域の代表者、利用者や家族などに委員を依頼し、2ヶ月に1回定期的に開催することを期待する。 また、会議でだされた課題をサービスの質の向上に活かすことを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当課等と連携を図るまでには至っていない。	○	市の担当者にサービスの質の向上についての意見や助言を求めるなど、連携を図ることを期待する。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来た家族にはホーム内での利用者の様子を伝えるとともに、面会に来られない家族には電話で報告している。 年2～3回ホーム便り「もくれん通信」を発行するとともに、日頃の様子を家族に送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口や担当者を重要事項説明書に明示している。 玄関に意見箱や自由ノートを置き、家族等が意見を自由に記入できる仕組みになっている。 また、意見があった場合はミーティングで検討し、サービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	関連施設間の異動はあるが、交代した職員は利用者の情報、状態、記録を活用するとともに、理解に努めることにより異動による利用者のダメージを極力抑えている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内の掲示や内部研修を実施しているが、職員一人ひとりの段階に応じた研修を受講する体制までには至っていない。	○	職員の育成を図るため、段階に応じた研修体制を確立することが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入している。サービスの質の向上に取り組んでいるが、同業者職員間で交流するまでには至っていない。	○	勉強会や相互訪問など、同業者職員間の交流が図れる機会を設けることを期待する。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して利用できるよう、利用前の見学や体験利用をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から暮らしの知恵を教えてもらったり、利用者の得意とすることで出番をつくるなど、ともに支え合う関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者から暮らし方の希望や要望などを把握するとともに、希望にそった生活ができるよう支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画の作成には至っていない。	○	その人らしく暮らせるよう利用者一人ひとりについての気付きや問題点を職員で意見を出し合い、利用者や家族の意見、主治医のアドバイスを参考に全職員で介護計画を作成することが望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じた介護計画の見直しをしていない。	○	モニタリングを着実にを行い、現状に即した介護計画の見直しが望まれる。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院が困難な利用者はリフト車等で通院支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	設置母体が医療機関であることから、利用者や家族等の希望にそった適切な医療が受けられる支援体制になっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化や終末期の対応について、職員や利用者の家族、医療機関と話し合い方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者一人ひとりの誇りとプライバシーを尊重しながら支援している。 個人記録は事務室に保管している。	○	ホーム便りなどに個人の写真を使用する場合は、個人情報に配慮して確認書を作成することを提案する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者一人ひとりのペースに合わせ、希望にそった支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者と一緒に食事をし、利用者のできる範囲で下膳や後片付けなどの支援をしている。	○	誕生会の食事や季節にちなんだ行事食、外食など利用者の希望を取り入れた食事支援を期待する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週2回午前中と決められており、利用者の誰もが決まりのなかで入浴をしているが、一人ひとりの希望やタイミングにあわせた支援を行うまでには至っていない。	○	利用者の希望時間等を把握し、利用者が入浴を楽しめるよう支援することを期待する。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者ができることや得意なことを把握しており、パッチワークや絵画、草取り、「いただきます、ごちそう様」当番などの役割づくりをしている。 また、近くのコンビニでの買い物支援もしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	朝晩の散歩やコンビニへの買い物、花見等季節に応じた行事を企画し外出している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけていない。 職員は利用者の外出傾向を把握するとともに、外出を止めることなく見守り支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルを作成し、年2回消防訓練及び避難訓練をしている。	○	ホームだけの訓練だけではなく、地域の方々の協力を得ながら避難訓練を定期的に行うことを期待する。 また、緊急時に備えて非常食の備蓄を期待する
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	事業本部の栄養士の指導により栄養バランスや水分量に配慮するとともに、水分や糖分等に注意が必要な利用者にも対応している。	○	食事摂取量や水分量を毎日記録して把握し、偏りのないよう支援することを期待する。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に生花を飾り、利用者に季節感と安らぎを味わうことができるよう配慮している。 中庭で犬を飼い野菜を作るなど、心地良い空間となるよう工夫している。 ホーム内のカーテン止めをパッチワークで作し、和やかな雰囲気になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は絵や写真、パッチワーク等好みの物を装飾して、安心して暮らせる空間となっている。 また、どの部屋も日当たりが良く居心地よく過ごせるようになっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。